

### 教えて!山村留学生 小屋瀬小児童がインタビュー

小屋瀬小学校(根反正樹校長、児童27人)の3~6年生の児童17人が9月8日、総合学習の一環で山村留学生にオンラインでインタビューをしました。町の印象や学校生活など児童たちの質問に山村留学生は丁寧に答え、児童たちは山村留学生の話に刺激を受けた様子でした。

Q: どうして葛巻高校に入学したのですか?

A: 僕は牛が好きで酪農に興味があったので、酪農の町・葛巻町の高校に入ろうと山村留学を決めました。



Q: 葛巻町はどんな町だと思いますか?

A: やりたいことができる町です。音楽をやりたいと周囲に伝えたら、地域のプラスバンドサークルに入れてくれました。

Q: 町の情報発信をしていますか?

A: スマートフォンで町の風景などを撮影してSNSで紹介しています。



Q: 初めて町に来たときの感想は?

A: 夏が涼しい! 牛乳がおいしい! 大自然がすごい!

Q: クリーンエネルギーについて、出身地と違いはありますか?

A: 私は秋田出身です。葛巻と違って秋田では風力発電は海の方にたくさんあるんですよ。

Q: 町に来て良かったと思ったことは?

A: 地域の人がみんな優しく、あいさつをしてくれたり気軽に声をかけてくれること。

Q: 葛巻高校で楽しかった行事は?

A: 夏のクラスマッチ。運動会と球技大会をミックスした、とても楽しいイベントだよ。

Q: 僕たちは町の木の活用を考えています。皆さんはどんな活用がいいと思いますか?

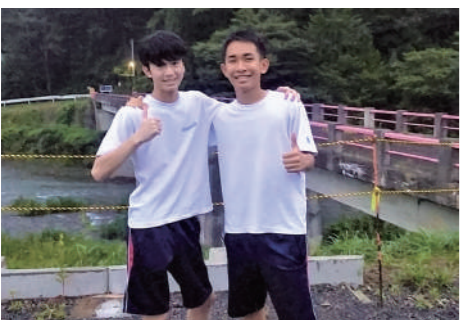
A: 町の木で高校生や大人も遊べるアスレチック施設ができればいい。

### 町を愛する山村生



菅野貴大(2年)

葛巻高校は近年、生徒数が増加しています。意外と知られていない事実かもしれませんが、町内の各中学校出身の生徒は他市町村から来た生徒の総数よりも少ないのです。葛巻高校は山村留学が代名詞です。山村生は活発で、授業中の発言はするし、いろいろな町内外の活動もするし、勉強の面においても優秀です。また、誰かが困っていると進んで助けに行く人が多いと感じ、町内生の自分から見ても尊敬する部分が多々あります。山村生の中には「将来、葛巻町に住みたい!」という人もいます。山村生の多くは都会から来た人で、地方から見ると都会の方が遊ぶところがあり毎日楽しそうだと思う



山村留学生の友人と

「都会と比べても、将来葛巻町に住みたい」と言う人もいます。葛巻町は都会に住むよりも得られるものが多いと感じるようで、葛巻に対する愛を持っている生徒が多いと感じます。山村留学制度は、町を愛する人ができて、将来的に定住する人を増やす良い制度だと思います。



### 高校生記者レポート



葛巻高校卒業生の上方桜咲さんと江田玲菜さん

江田さんと上方さんは、高校生の時にくずまき型DMO若者高校生部会に所属し、まちづくりワークショップなどで町のことを学び、C

### 企画に活かされたDMOの活動経験

校の卒業生で2年の江田玲菜さん(小屋瀬)と上方桜咲さん(五日市)は、葛巻町で2日間学習するコースを提案されました。6月のプレゼンテーションでは江田さんが町の産業や新エネルギー施策を、上方さんが葛巻高校やくずまき型DMO若者高校生部会の活動などを紹介したそうです。「時間をかけて資料を作り、町の良さを知って欲しいという気持ちでプレゼンしました。その結果、たくさんの学生に「葛巻町に行きたい」と言ってもらえてうれしかったです」と2人は振り返ります。



新妻さんの講話を聞く学生たちと、2日間の地域学習をまとめるワークショップの様子

M制作や仙台で行われた「くずまきフェア」への参加など、町をPRする活動を積極的に行いました。今回の企画には当時の経験が生かされています。企画した学習コースには、第三セクターの視察を通じた基幹産業の学習や新エネルギー施設などの見学に加え、「町の人から直接話を聞いてみたい」と移住者の新妻浩三さん(小田)や、(株)やどり木の方の講話を設けました。新妻さんは「小さな町だが誇れるものがたくさんある。私は自分の英語塾で力の限り人を育てたい」と思いを語り、(株)やどり木の南館則江さんは「まちなかから民間の力で地域を元気にしよう」と取り組んでいる」と話し、学生たちはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



学習に参加した県立大学生の皆さん

上方さんは「高校生の時町のことをたくさん学べたのは、とても特別な経験なのだ」と大学に入ってから気付いた。できたら葛巻高校生と関わり活動をサポートしたい」と後輩たちとの交流を思い描きます。江田さんは「今回行く先々で、自分を覚えていて声をかけてくれる人がいてとてもうれしかった。これからは何らかの形で町に関わり続けたい」と、ふるさとの温かさを感じながら、町への愛着をさらに深めた様子でした。

### 人の温かさに触れ町との関わり誓う

### 葛巻卒業生が地域学習を企画

私たちの町を紹介したい!

9月13日と14日、岩手県立大学の「いわて創造学習」の地域学習で1、2年生21人が町を訪れました。この学習を企画した葛巻高校の卒業生2人を取材しました。

### 地域学習のコース 地元葛巻町を提案

県立大学の「いわて創造学習」は、学生が県内各地の市町村を訪問し、地域の現状や課題を学ぶプログラムです。訪問する市町村は学生の企画提案によって選ばれ、葛巻高